トラブルシューティング

この章は、次の項で構成されています。

- Cisco UCS Manager で統合された C シリーズ サーバのハードウェア コンポーネントの交換, 1 ページ

Cisco UCS Manager で統合された C シリーズ サーバのハードウェア コンポーネントの交換

ハードウェアを Cisco UCS Manager で統合された C シリーズ サーバの管理型ファームウェア コンポーネントと交換すると、サーバの検出に失敗することがあります。この原因としては、ハードウェアのファームウェアの破損、またはハードウェア コンポーネントのファームウェアに互換性がないことが考えられます。次の手順を実行して、ハードウェア交換後にサーバ ファームウェアの破損や非互換性が原因で、サーバの検出が失敗しないようにします。

ステップ 1 右クリックして、[Server] -> [Server Maintenance] > [Decommission Server] の順に選択し、サーバを停止します。

ステップ 2 VIC を FI（該当する場合は FEX）に接続しているケーブルを外します。

ステップ 3 次のように、サーバを Cisco UCS Manager から削除します。

a) [Equipment] > [Decommissioned] を選択します。

b) サーバを右クリックして、[Remove] クリックします。

ステップ 4 サーバを再起動して、CIMC を工場出荷時の設定にリセットします。

ステップ 5 サーバの MGMT ポートに 1G ケーブルを接続し、スタンドアロン アクセス用に設定します。

ステップ 6 すべてのサーバ ファームウェアのイメージを再作成して、Cisco UCS Manager ファームウェア バンドルの CIMC バージョンとサーバを一致させます。

a) シスコのソフトウェア ダウンロード サイトから、Cisco UCS Manager でこのサーバに適用されるホスト ファームウェア パッケージに対応した CIMC バージョンの Host Upgrade Utility（HUU）をダウンロードします。
b) スタンドアロン KVM でサーバを起動し、HUU パッケージを実行します。

ファームウェアのアップグレードの詳細な手順については、前のステップでダウンロードした HUU CIMC バージョンに対応した『Host Utility Upgrade User Guide』を参照してください。

ステップ 7 サーバを再起動して、CIMC を工場出荷時の設定にリセットします。

ステップ 8 電源ケーブルを 30 秒間外します。

ステップ 9 アップリンク ケーブルを再接続します。

ステップ 10 電源ケーブルを接続して電源を入れます。

ステップ 11 Cisco UCS Manager にサーバが表示されることを確認します。表示されるまで数分かかることがあります。

ステップ 12 ラック サーバ ディスカバリ ポリシーが「ユーザ確認」に設定されている場合は、サーバが表示されたらサーバを再確認します。